ヴァレリー物語

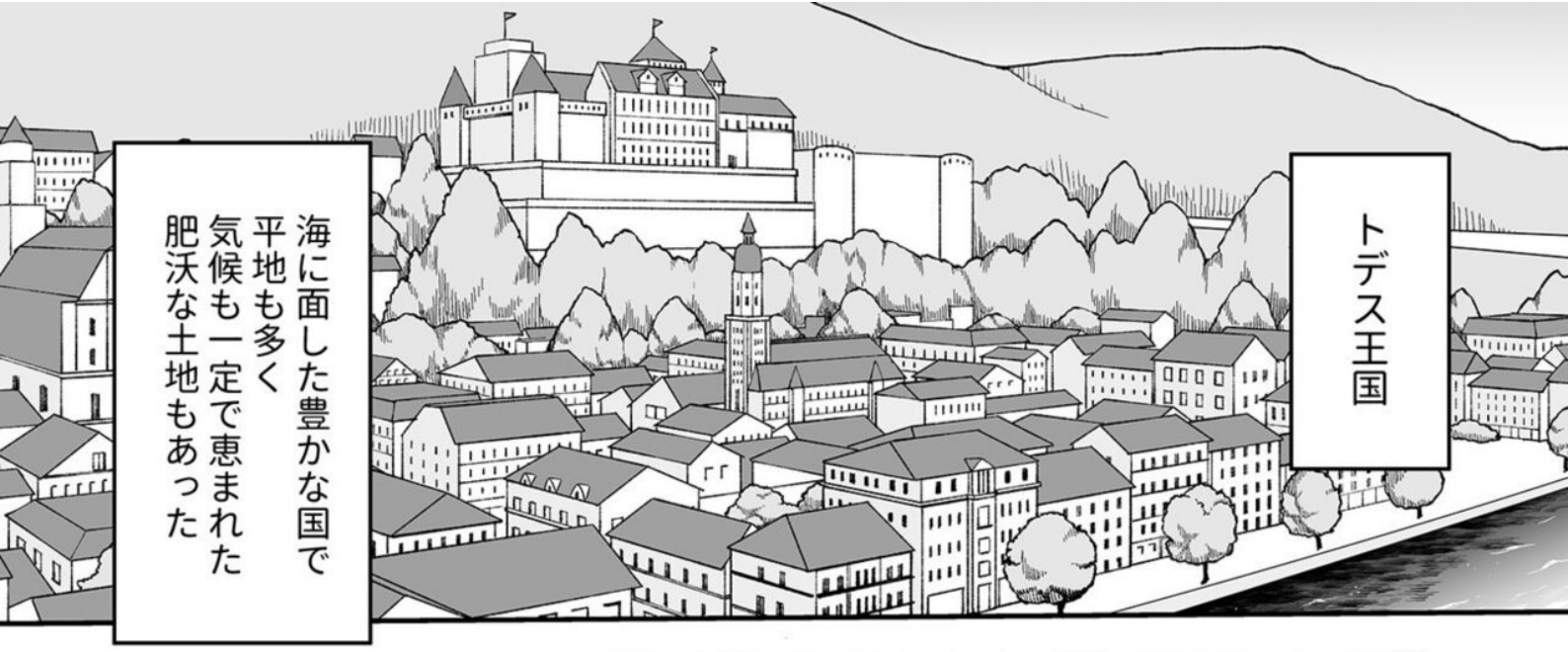
～王女様はヤりたい放題!?～ ①



成年コミック

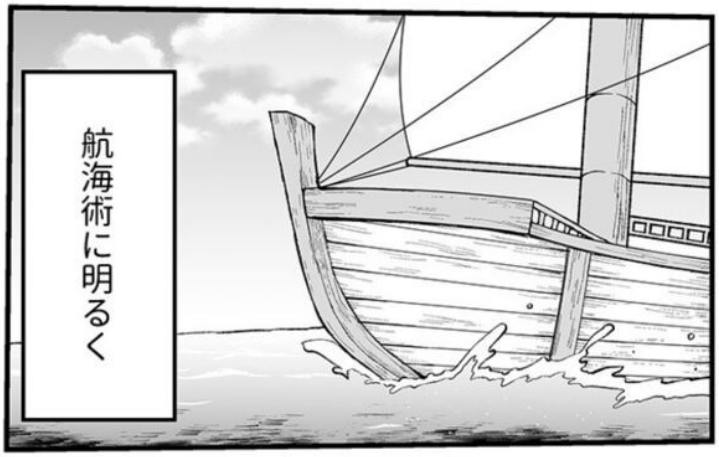
かゆみ止め

Kayumi dome

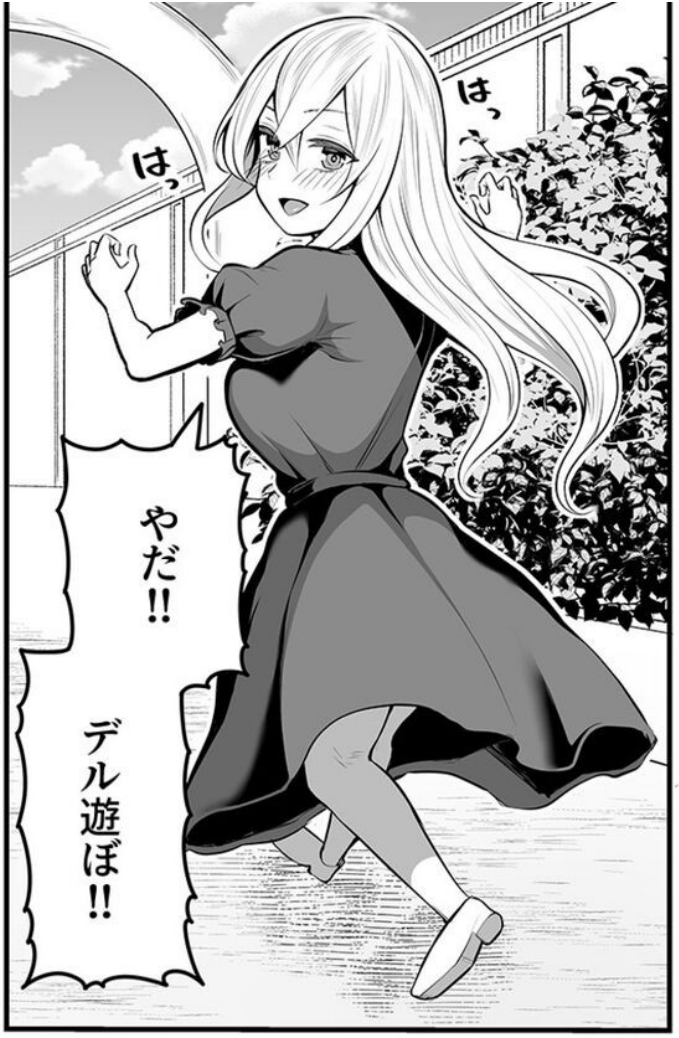

トデス王国
海に面した豊かな国で
平地も多く
気候も一定で恵まれた
肥沃な土地もあった


近隣諸国との
中継貿易国の役割も
担っており
Todes

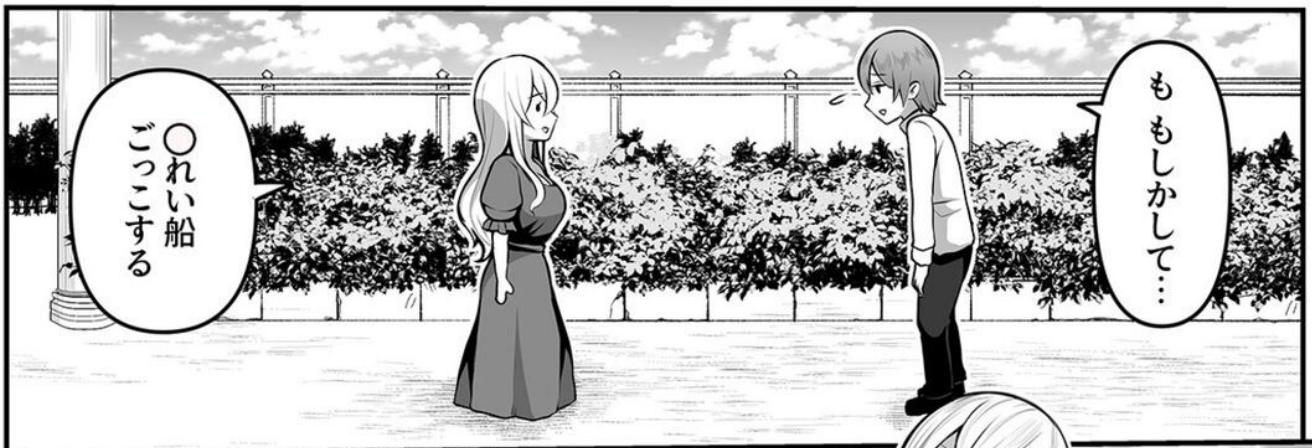

各地から
人が集まる事から
様々な技術も
トデス王国に
集約していた


航海術に明るく


ヴァレリー様～!!
お待ちください!!


はっ
はっ
やだ!!
デル遊ぼ!!


午後からは
お勉強の時間ですよ
ヴァレリー様
ハァ…
ハァ…


ももしかして…
○れい船
ごっこする


ままたですか~!?
不謹慎ですよ
やめましょうよ~!!
デル
うるさい
だまってはたらけ
テメーのケツが
可愛くねえのか?
あしたには
お前のかあちゃんよりも
デカイケツに
腫らしてやる
ガシ


王女様が使っていい言葉じゃないですって!!
ペキーン
いってぇ――!!
ザワ
ザワ
ペキーン
ギャーッ!!
スー…
スー…
スー…
レモン
くらえ!!
アハー!
ペコ
ペコ
あっ!!
お父様!!
陛下!?

聞いてお父様!!

スッ

ヴァレリー!
午後は地強の時間じゃなかったか?

いつも話を聞いてやれなくてすまないが客が来ているらしい急がねばならんのだ

ギュッ

はい…

陛下お急ぎ下さい

ううむ

……ヴァレリー様?

いいの後でまたお話に行くから

……お供します

いい一人で行く

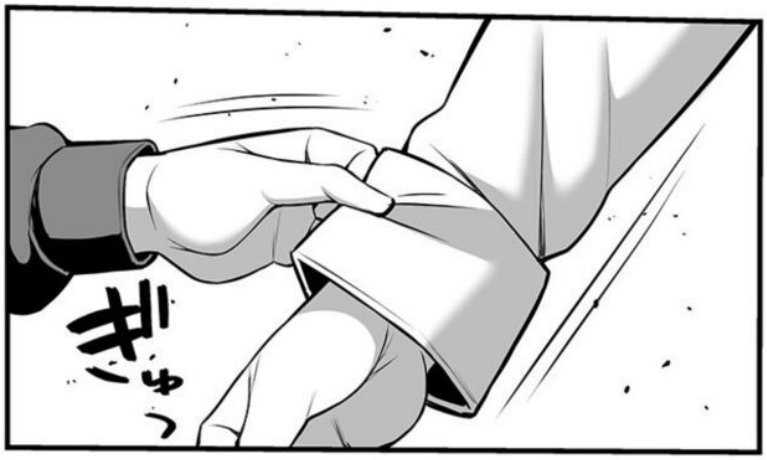


そ そうですか…？



ではヴァレリー様
本日はこれで
失礼させて
いただきますね

おやすみなさいませ



ぎゅっ



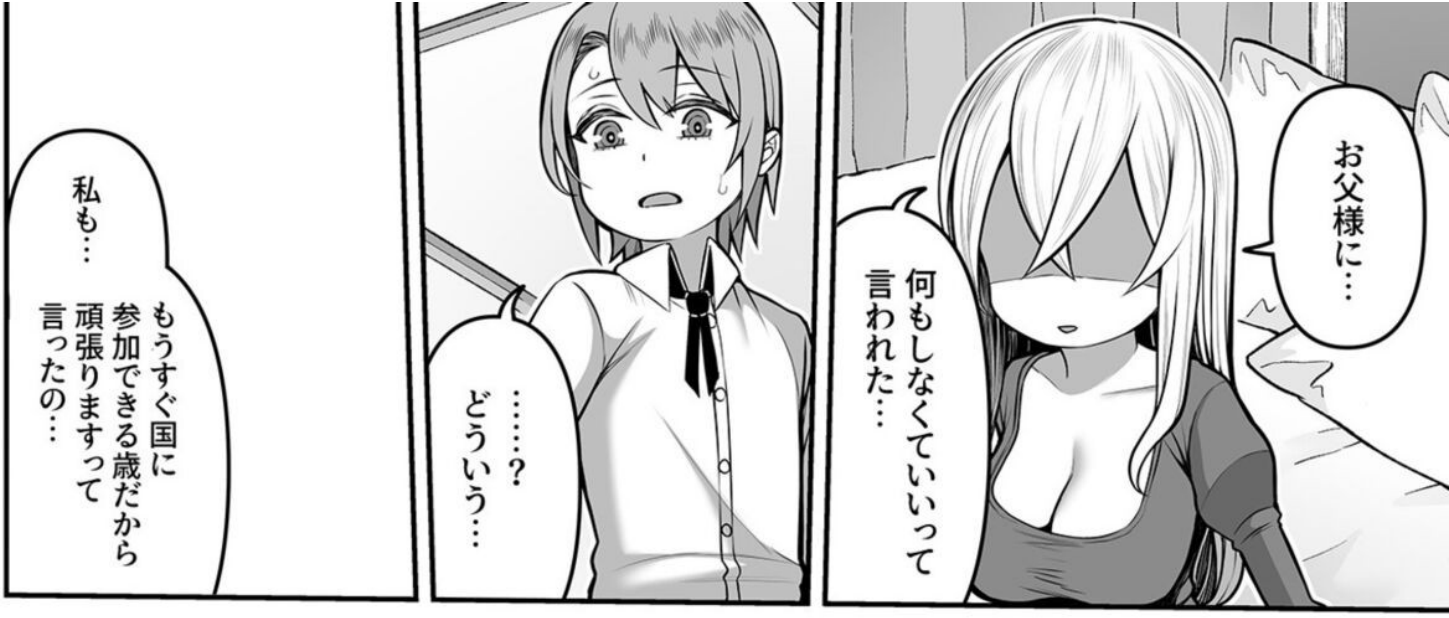
ん……

おやすみ…

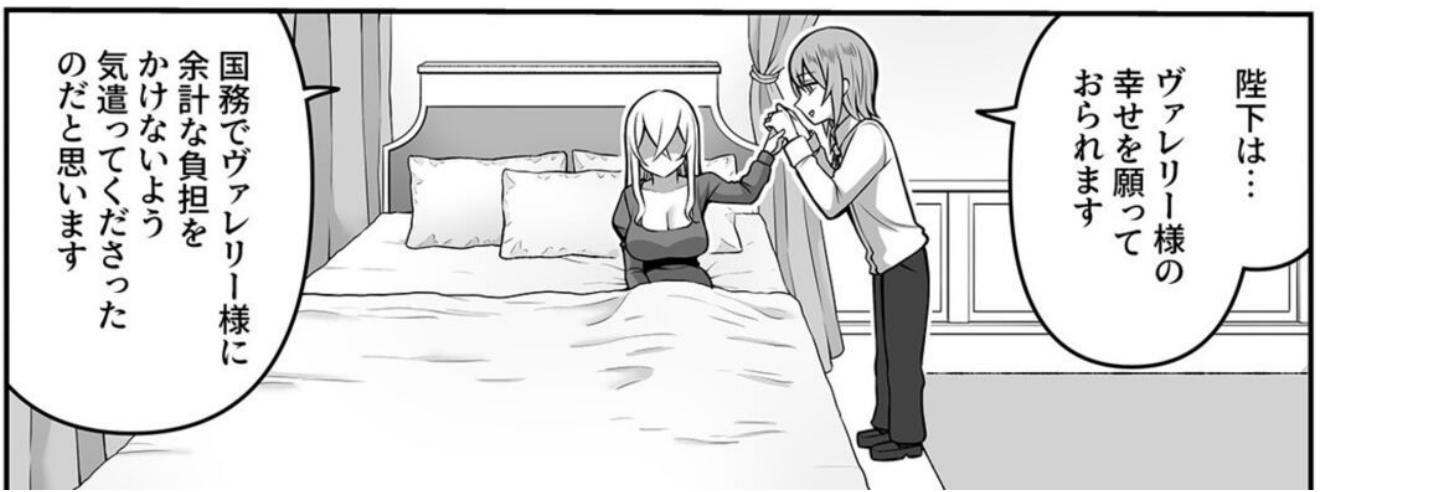


デル…
やっぱダメ…

ヴァレリー様？


お父様に…
何もしなくていいって
言われた…
……？
どういう…
私も…
もうすぐ国に
参加できる歳だから
頑張りますって
言ったの…


ヴァレリーは
いつも通り
遊んでたらいいって…
私…お父様の力に
なりたかったのに!!
――……


陛下は…
ヴァレリー様の
幸せを願って
おられます
国務でヴァレリー様に
余計な負担を
かけないよう
気遣ってくださった
のだと思います


私…
勉強苦手だし…
皆…
私が何かする度に
困った顔するの
ヴァレリー様…
お父様も
お兄様も
忙しくて
構ってくれないし…
スマン
スマン
スマン
お母様は
死んじゃったし…
私…
いらない子
なんだ…
ぐすっ…
そんな事
ありません…!!
陛下もヴァレリー様が
成長なされている事を
ご存知のはずです
若いうちは
身体を動かせ!と
私の同期はいつも
言っていました
何より私には
ヴァレリー様が必要です!!
お お慕い申して
おります!!
カアアアア


ふふん!!
見習いの癖に偉そう!!
すすみません…!!
ヴァレリー様の落ち込んでいる顔を見るのが辛くて…
デル…
チュ
ずっと側に居てね…
私も好き
ヴァレリー様…
……
キシ…


お お父様…？
今なんて…
ワナ…
ワナ…
こやつは
死刑だ!!
あっ…
わ 私の娘を…!!
見習いの…分際で…っ!!
処女を奪っただと…!!
あのっ…!!
い 嫌です…!!
デルだけは…!!
許してください!!


いいや許せぬ！
ヴァレリーにはもう
隣国から縁談も
来るような
時期なのだ!!
それを一民の分際
わ私が
誘ったのです…
なんだと!?
私がデルを…
ヴァレリー様…
無理矢理に
誘ったのです…
貴様…
ヴァレリーを
誑かしよってぇ…!!
ガシッ
やめてください
お父様！
おおおぐぐ!!
もうよい!!
ヴァレリー…!!
もう泣かないでくれ…
分かった…
しかし罪は
裁かねばならぬ


そやつは終身刑とする…
二度と会う事は許さない
あああああ
よろしいのですか…？
さっさと連れ行け!!
は!!
ヴァレリー様…
すみませんでした…
デル
なんで謝ったの――？
間違いって認めないでよ…


——8年後
あっ♡いいですっ♡
ち○ぽいいっ♡
ヴァレリー様…!!!
そろそろ射精そうです…!!
私の胸に…
おかけなさい…!!
うっ!!
ひゃっ…!!
すすみません
ヴァレリー様…っ!!
お顔に——


あ 貴方ねえ!!
ワナ
ムカッ
どろぉ〜
ワナ
私は胸に出せと言いましたのにっ!! よりによって顔にクッセー精液がかかりましてよ!?
ハッ!!
も申し訳ございません…
そ そんな——…
もうよいです 狙った場所に射精もできないような男はクビです
騎士はやめて弓兵にでもなって報え直すのがよろしいですわ
ほら早く拭き取りなさい
ぷり
ぷり
ヴァレリー様 今日も荒れてらっしゃいますね…
はぁ〜…
やる事もなくてお暇なんでしょうよ…


何が国一番の剣使いですの!?
自分についてる剣もロクに扱えないのに聞いて呆れますわ!!
ヴァレリー様お気を鎮めてください…
国は全て陛下と王子様が取り仕切っておられますし
もう二十歳になられますのに他の国との縁も全て拒否して来られてます…
ヴァレリー様の生き甲斐は男漁りとメイドイビリだけですよね
せっせ
せっせ
ヴァレリー様はそのようにお過ごしのようです…
そ そうか…ヴァレリーが息災で何よりだ
父上…何が息災ですか我が妹は厄災ですよ
そう言うな…ワシも国務にかまけあやつには何もしてやれなかった…
あの日…あの見習いを許していれば…ヴァレリーは真っ直ぐ育ったのだろうか……
もう全て手遅れだ…せめて好きなように…


は――
ムラムラ
しますわ!!
中途半端なち○ぽに
突かれるのが
一番ムラムラする!!
何処かに
ビッグディック
生えてないかしら…
ぴく
!!!
あら～っ!!
いい得物ですわぁ…!!
やっぱり男は
パワー!!
筋肉もプリプリで
美味しそう!!
それに…
ミチ
ミチ
ミチ


精が出ますわね？
ここれはこれは
ヴァレリー様
暑苦しい所を
お見せしました…！
ふぅ！
とんでもありません
貴方の槍使いは
スマートで力強くて…
見惚れてしまいました
ふふ…♡
良いではないですか
スリ
スリ
勿体なき
お言葉…!!
ヴァレリー様…!!
たっぷりと汗を
かいているので
あまりお近くに
寄られると臭いますよ…？
貴方の槍使い…
もっと見せてくださる…？


うおおお!!
ヴァレリー様ぁあ!!
あぃっ♡
パン
パン
パン
キュ♡
おぉお〜っ♡
しゅごいっ♡
子宮潰れるぅ…♡
ヴァレリーと…!!
こんな事
できるなんて…!!
おおおん♡
大きすぎるっ♡
もっと突きまくって
くださいまし〜っ♡
ヴァレリー様…!!
なんて綺麗な肌…!!
おっぱい揺れて
セクシーすぎます!!
おぃっ♡
おっ♡


ふふっ♡
私を抱きたかったのですか？♡
ぎゅ…
ふーっ♡
ふーっ♡
はいい!!
ヴァレリー様程美しい女性は他にいません…!!
この逢瀬は内緒ですよ？
ハァ…
ハァ…
御意!!
おっ♡
すっげ♡
トン♡
あっ♡
フッ
フッ
子宮叩かれ過ぎてめちゃ跳ねるっ♡
ち〇ぽ長すぎ…ッ!!
ぉっ♡
イグイグ…!!
えっぐいアクメきましゅっ♡
ヴァレリー様…！私もそろそろ…!!
か構いませんっ♡貴方は特別ですっ
そのまま——
ドン
クン


イグッ!!
びくん
オオ♡
イグッ♡
ビュルルル
ぐおおぉ…
絞り取られる…!!
ブビュッ
ビュ…
なんてスケベな
おま○こだ…!!
ん～♡
びゃ～♡
びゃ～♡
フーッ
フーッ
フーッ
ビクッ
ビクッ
おっ♡


ムク…
？
何を仰って？
まだ始まったばかりじゃ
ございませんこと？
はぁ…はあ…
ヴァレリー様…
ありがとう
ございました
ハーッ
ハーッ
くたぁ
えっ!!


ふぅ～…!!
スッキリしました!!
好きなだけ気絶してから
帰ってくださいませ
ちーん
うーん…
スッキリは
しましたけど…
何かしっくり
来ないですわねぇ…
イケメン以外も
試してみますか…

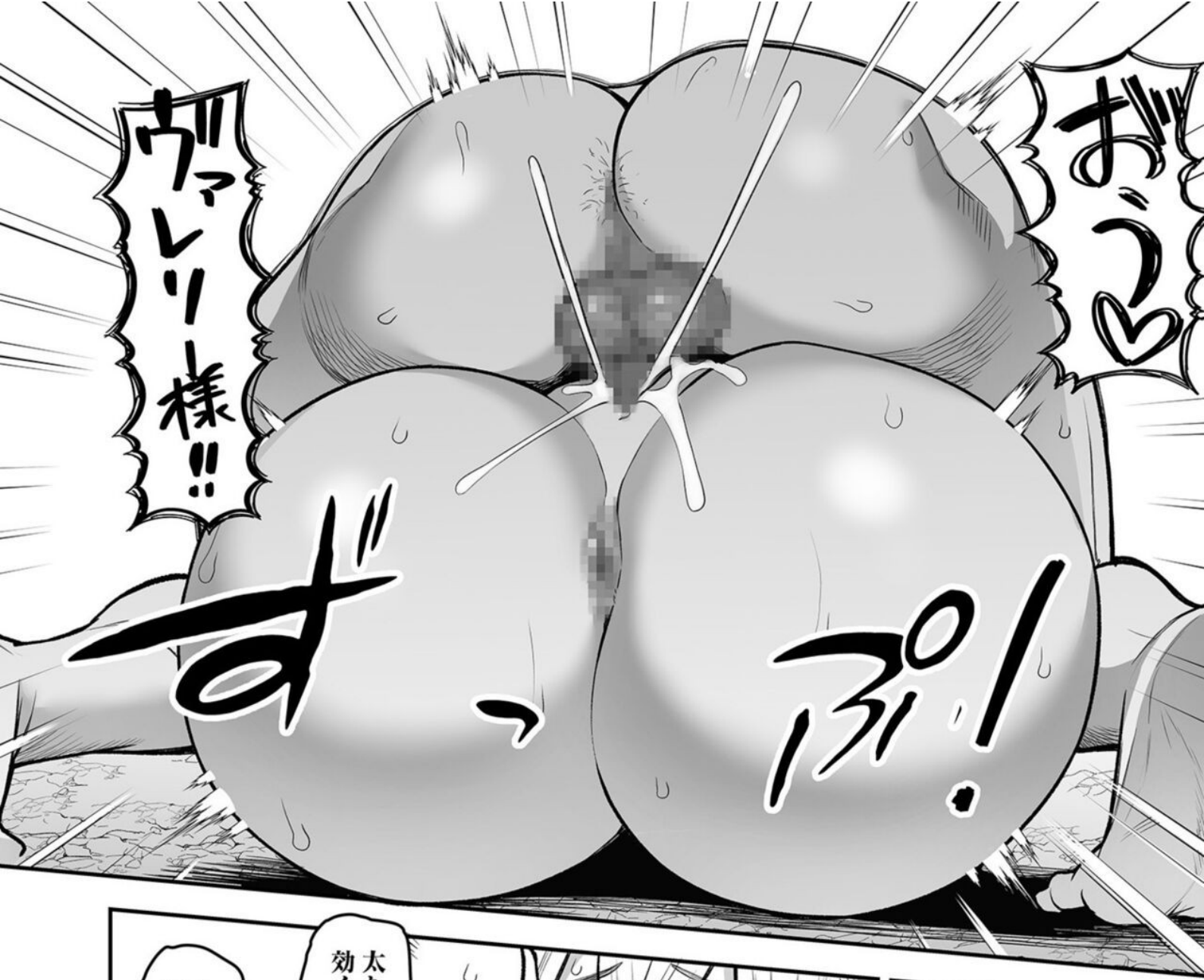

次の日
ふぅー…
ごきげんよう
ムチ♡
ムチ♡
わっ!!
ヴァレリー様!?


このような場所に一体何の御用で…？
ちらっ
それにその御姿は…
ふふ 無論花に慰められに来ましたの
あらあら…見てますわねぇ…♡
それと明日メイド達と水浴びに出掛けますから
ふんっ♡
新しい水浴び用衣装の感想を聞いて回っているのです
ぶるんっ
ばあ
いかがです？
じー…
さ 左様で！
デブスの庭師…鼻息荒くこの私の身体を視姦している…
へへっ
今までこういう手合いは想像にもしておりませんでしたが…
しゅしゅ
へへっヴァレリー様の美しさの前では花達の方が恥じてしまいますよ
あら嬉しいありがとう


このような立派な花を咲かせる庭師の貴方に手入れしていただいたら
ギュ…
私という華はもっと綺麗に咲けるのかしら…？
私の崇高なる性癖探しという趣味の道程には―
必要な道です!!♡
ヴァ…!!
ヴァレリー様―!!
ワオ…
ワオ…
ぜぇ～っ
あっ♡


ん…
な、なんてネチっこい愛撫…
んふー…
ナメクジに這われているような嫌悪感…！
ぺろっ…
ぢゅるぢゅるぢゅるぢゅる
ぢゅるぢゅるぢゅるぢゅる
なのに
んくっ♡
ゾクッ
ゾクッ
びくっ
へへ…いかがですかヴァレリー様
ぢゅるぢゅるぢゅるぢゅる♡
ちゅぱ♡
イイってしまいましたぁ…♡


身体と共に自尊心が穢されていく感覚…
はっ
はっ
はっ
はっ
でも与えられる快感は心地いい…
うへへ…ヴァレリー様…いいんですよね…？
栄養剤入れちゃっても…？
ぼろっ
ヒクン
ヒクン
ええ…♡
全て吸い取ってしまいますわよ…♡
ヒト…
むちゅ

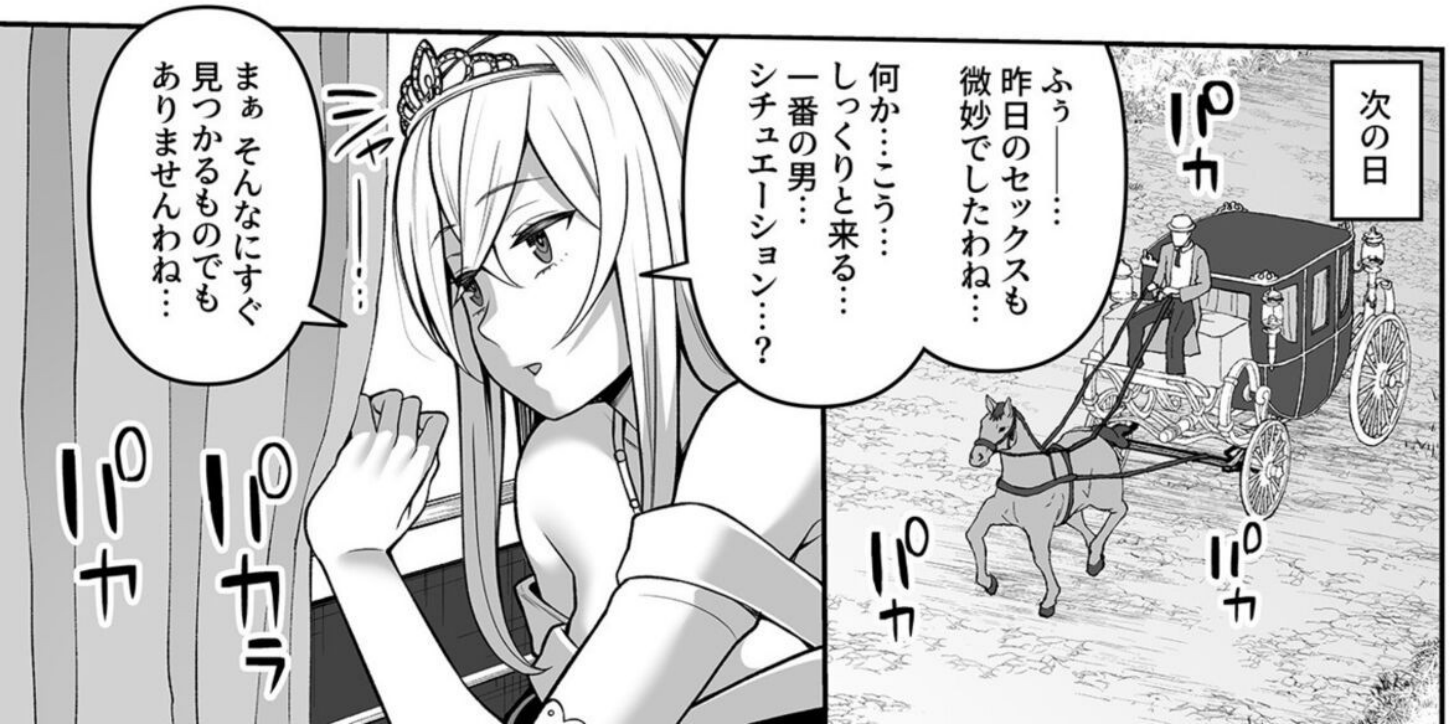

おぅ♡
ヴァレリー様!!
ずっぽ!


ミチ♡
うふーっ!!
すっげぇ…
これが王族ま○こ…!!
良いもの食ってると
こんな吸い付きのいい
ま○こになるんだな!!
ミチ♡
はっ♡
はっ♡
太ち○ぽ
効くっ♡
おま○こ
押し広げられるっ♡
腰止まらねえっ!!


ど どうですか ヴァレリー様!! 俺のち○ぽっ!!!
はっ♡
はっ♡
はっ♡
あっ♡
あん♡
いいですっ♡ 太ち○ぽ好き♡ もっと突いてぇ♡
ぶちゅ♡
ぶちゅ♡
くうう~!! 俺もう死んでもいいです…!!
ダメですっ♡ 私をイかせなさいっ イかせてから死ね♡
ヴァレリー様 エロすぎる…!! 平民の天使…!!
おんっ♡
あぁ♡
パチュッ
パチュッ
パチュッ
金玉の中身全部 出してやる…!!
ヴァレリー様に 俺とのお世継ぎ 孕ませる…!!
チュッ♡
ゴチュ♡


ドプッ
あっ♡
膣内に…♡
びゅー♡
びゅーッ♡
ぐぅうぅ…!!
ヴァレリー様!!
着床しろ…!!
ぶちゅう
んむっ!?
ドプッ
じゅくッ!!♡
ドプッ
ドプッ


ふぅー…!!
はっ!!
中出しするのはかまいませんですが…
ヴァレリー様…!?
私の唇を奪ってよいはずありませんね?
ヴァレリー様…!お許しください…!!
宣言通り死になさい
満足致しましたでしょう?
ヒィイ――!


次の日
パカ
ふぅ――…昨日のセックスも微妙でしたわね…
何か…こう…しっくりと来る…一番の男…シチュエーション…?
パカ
パカ
パカ
パカラ
パカ
ニャ――!…
まぁそんなにすぐ見つかるものでもありませんわね…



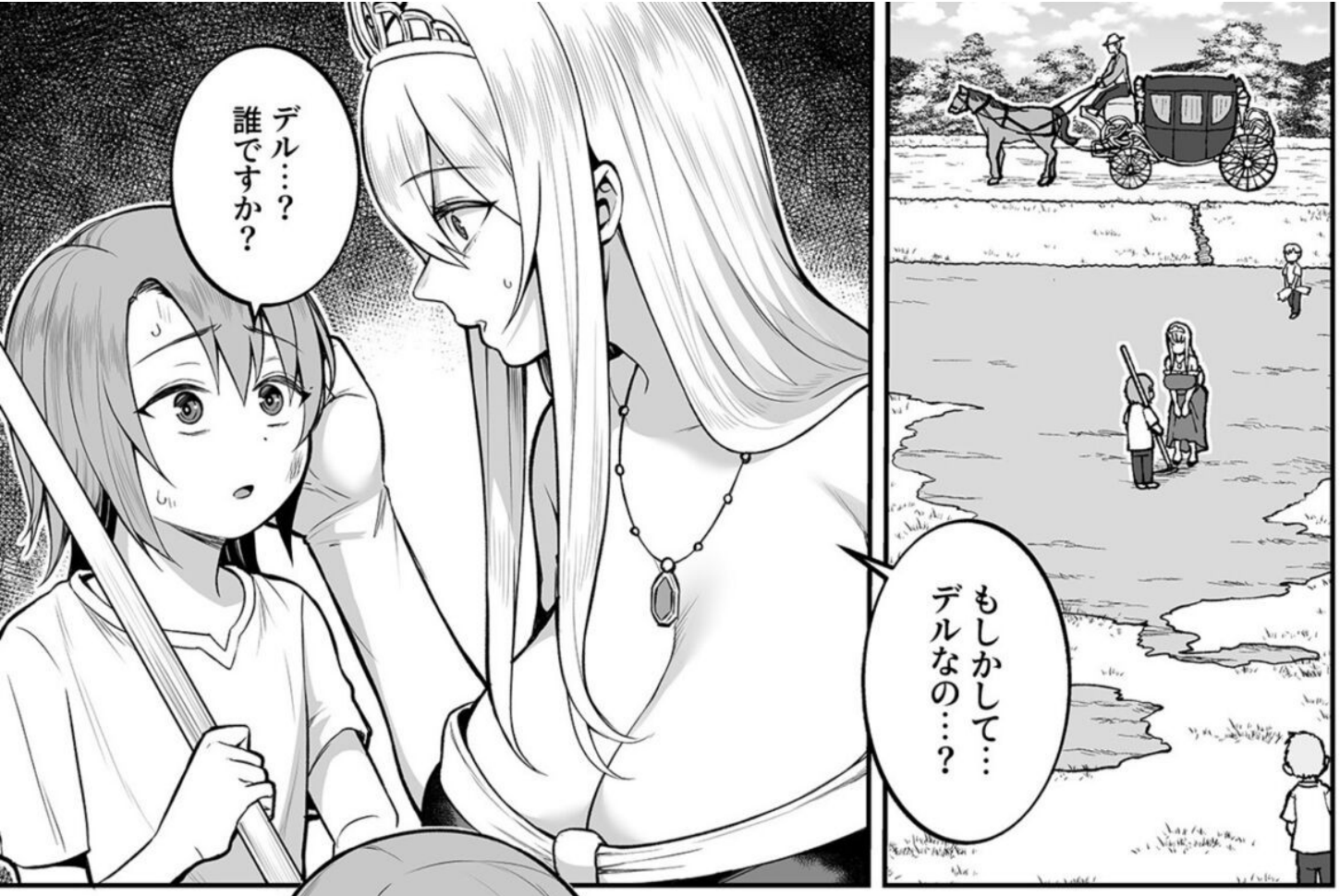
ヴァレリー物語(1)　～王女様はヤりたい放題!?～／おわり

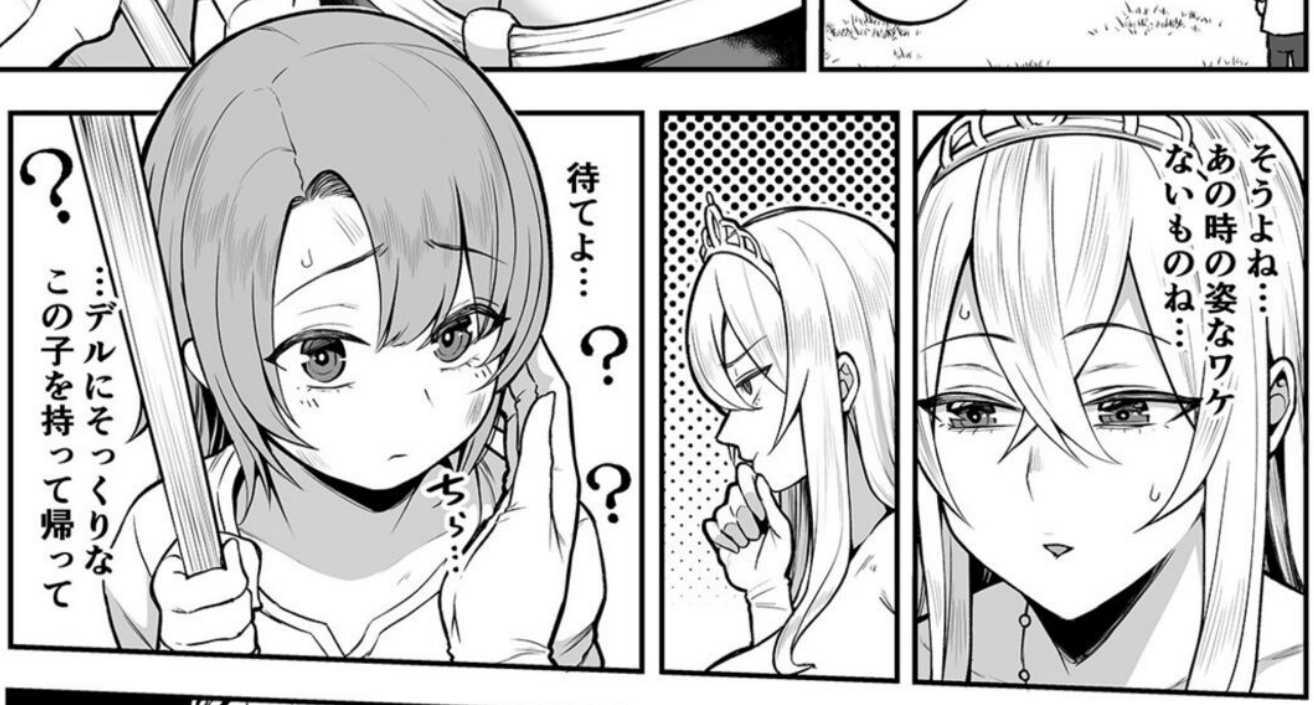
ヴァレリー物語(1)～王女様はヤリたい放題!?～

著者 かゆみ止め
発行 プレステージ出版 COMICS

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。


かゆみ止め
Kayumi dome
成年コミック
～初恋の味はショタの味～
ヴァレリー物語②


もしかして…
デルなの…？
デル…？
誰ですか？


そうよね…
あの時の姿なワケ
ないものね…
待てよ…？？
ちら…
…デルにそっくりな
この子を持って帰って
？

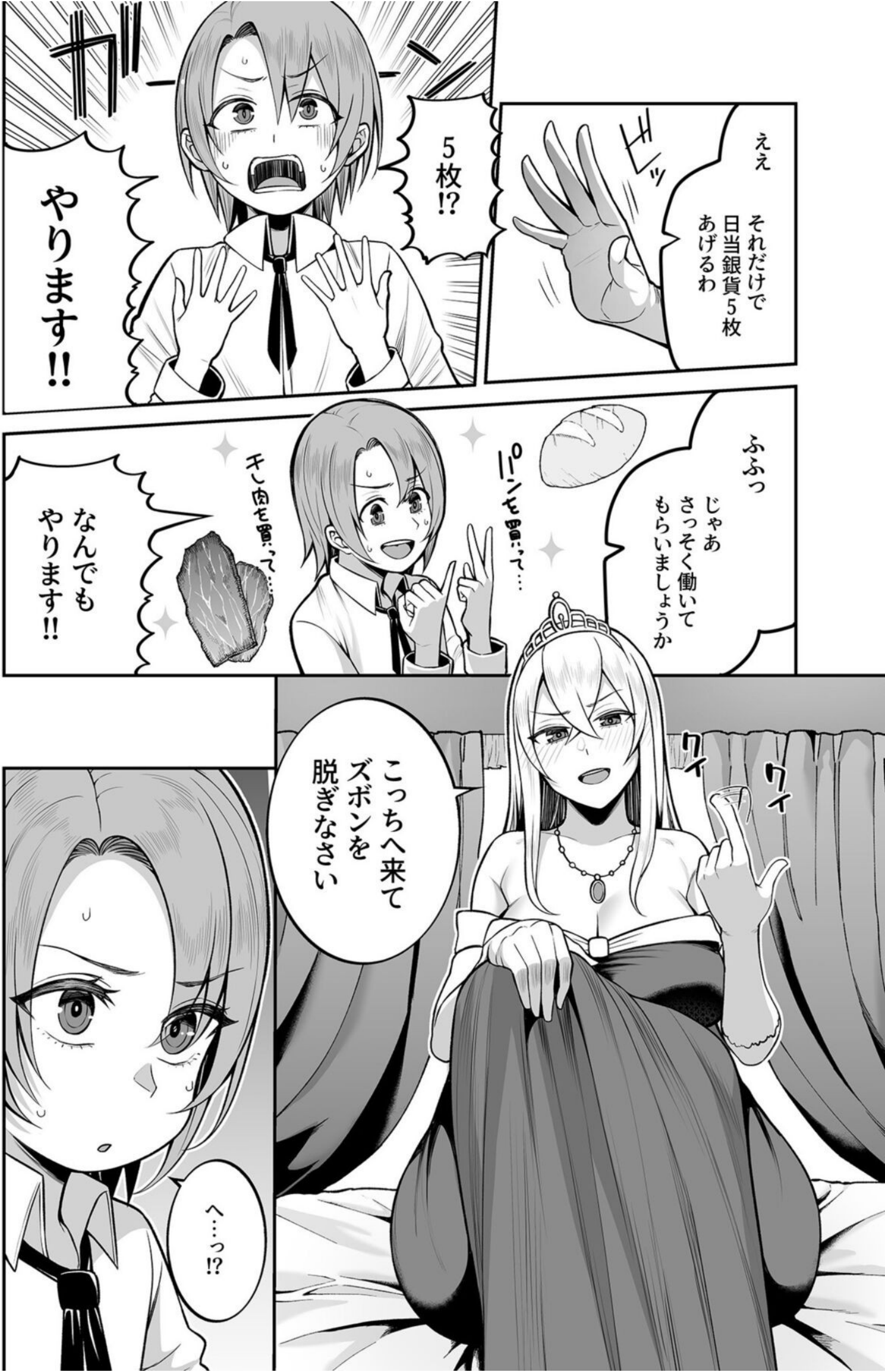

食べてみるのは
アリかもぉ…
なんの御用で…？
ぺろ


貴方稼ぎの良い仕事に興味はないかしら？
へ？
ホカホカ
あのー…
あらー!!
随分綺麗になったわね
貴方お名前は？
ゴゴゴ
……トミーです


そう
トミーは
この仕事中
デルと名乗りなさい
デル…？
分かりました
私の事は
ヴァレリー様と
呼ぶこと
分かった？
はい！


それで…
ヴァレリー様
僕は一体
何をすれば…？
そうね
デルには
私の身の
回りの世話を
お願いしたいの
お茶を
入れたり
話相手に
なったり——


添い寝を
したり…
ニヤァ♡
それだけ
ですか？


ええ
それだけで
日当銀貨5枚
あげるわ
ピッ
5枚!?
やります!!
ふふっ
じゃあ
さっそく働いて
もらいましょうか
パンを買って…
干し肉を買って…
なんでも
やります!!
こっちへ来て
ズボンを
脱ぎなさい
クイ
クイ
へ…っ!?


さっさと言うことを聞きなさい
はいっ
…っ 恥ずかしっ
そのまま私とキスしなさい
はいっ
カアアア
ドキ
ドキ
ドキ
フフ…♡
あら小さぁい…
デルもこんなに小さかったかしら…？私も子供だったから？
ぷりっ
んっ♡
ぷちゅ
ドキドキ
チュ♡
チュ♡


ぺろ…
ん…!?
はっ♡
ぷはぁ…
はっ♡
はっ♡
ん〜っ!?
ぢゅぢゅ
ワキュ♡
ぢゅぢゅ
ワキュ♡
はぁ♡
あらあら
触ってもないのに
おち○ち○が
こんなに…
はぁ♡
はぁ♡
ゾクッ♡
スリ
スリ
ぎゅ♡
ゾクッ
いいのよデル
私に全て
委ねなさい
切なそうに
跳ねさせて…
可愛い〜…
びん♡
びん♡
ヴァレリー様の
ベロ気持ちよくて…
勝手に…
はひっ


綺麗でモチモチのお肌～♡
ほら腰突き出して？
はいいい…
こら腰が引けてるわよ
あぁっ
くぷぷぷ♡
ヒクッ
そんな所舐めたら汚いです…！
レロォ♡
ペロッ♡
サワ
皮の中におち○ち○隠れちゃって…
中身もチェックしないとね
ペロッ♡
あっあっヴァレリー様…
和
変な感じですぅ…
あっ♡
ヌロ♡


どう変なのですか？
ぶちゅ♡
グポ♡
ゾク
ショタち○ぽの癖にしっかり感じてるのね？生意気
この初々しい感じ…懐かしいすごく興奮する…
なんだか段々わかってきた…
んぽ♡
んぽ♡
んぽ♡
んぽ♡
フー
キュン♡キュン♡
ヴァレリー様ッ!!なんか出ます！
んぶっ?!


あっ…♡
ヴァレリー様ぁ♡
ゴク…ゴク…
はぁはぁ…
すみません
ヴァレリー様
ニヤ…
ふふふっ…
この私に精液
飲ませるなんて
良い度胸ね？
デル
お仕置きよ


ハッ
ハッ
たぶん
私…
ギ
いや
きっと…!!
シィィ
ピク
ピク
ヒク♡
ショタコン
だ――!
ヴァレリー様の
身体すごい…
母さんと全然
違う…
はっ
はっ
ふふっ
当然の事
言っても
許さないわよ
ぺろぉ♡
性に疎い子を
組み敷いて
征服する感じ…


最高に——
ヒクン
ぷちゅ♡
あ…っ
ズズズズ
あぁ…♡
興奮する!!
ズポッ
あぁ♡
あっ
ヴァレリー様の中に
ち○ち○が…!!
ん～
挿入った♡
ゾクッ
ゾクッ
ガキち○ぽ
ガチガチに
勃起させて
本能で
孕まそうと
してるのかしら?
ゾクッ
ギュポッ♡
ズチュン
グス

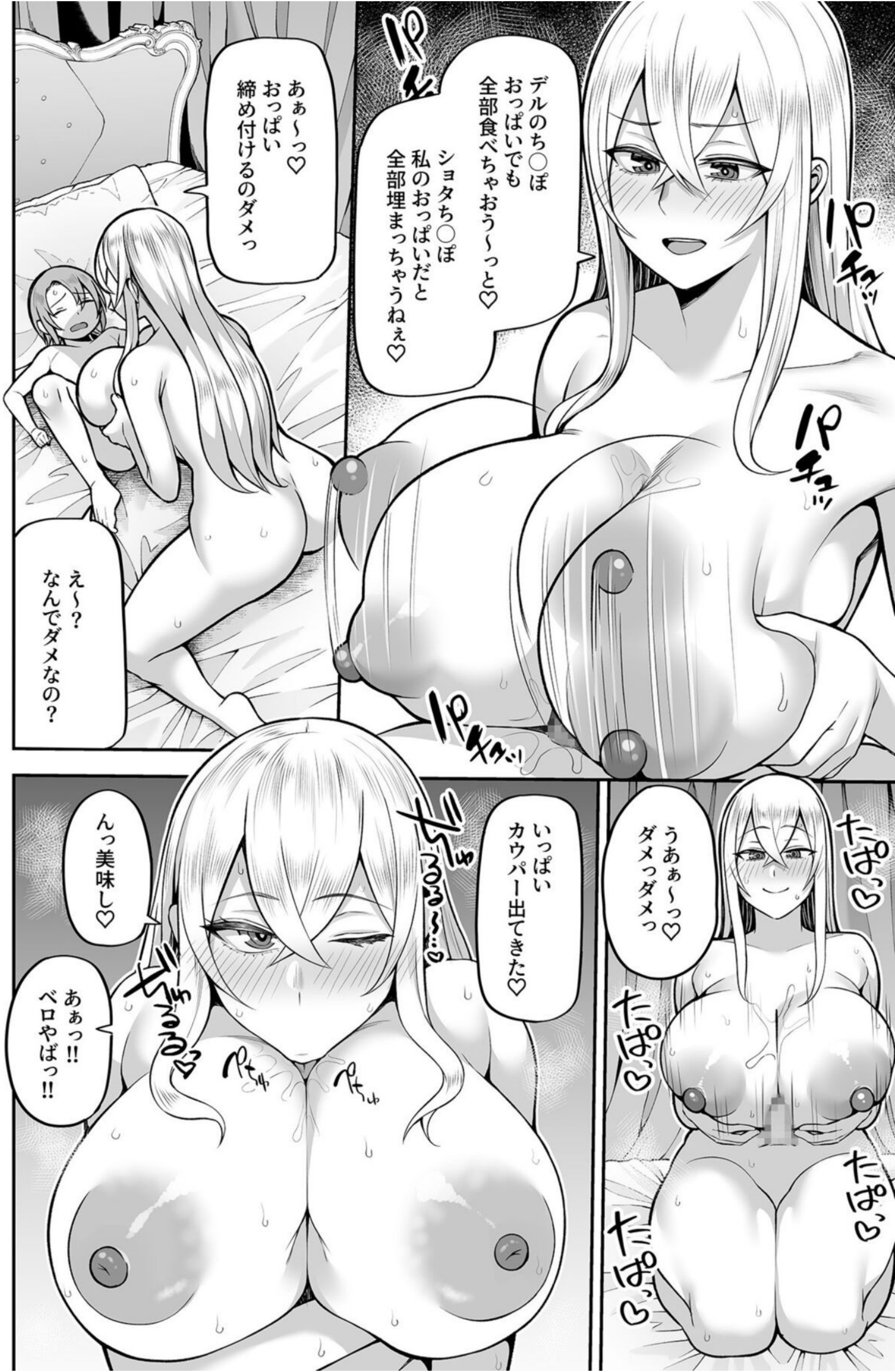

ゆ許して
ください
ち○ち○
取れちゃいますぅ…!!
ふふっ
何言ってるの?
取るも何も
デルのち○ぽも
口も身体も
全部
私の物よ


あぁ~っ!!
そんなぁ!!
はっ
デル知ってる?
さっきの白いの
おま○この
中に出すと
赤ちゃんが
できるの
赤ちゃん…!?
そう
私とデルの
赤ちゃん♡


わ わかんないですっ
抜いてくださいい
だーめ♡
デルの赤ちゃん
作っちゃうから♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
初恋の人の
赤ちゃんっ♡
射精せ♡
射精せ♡
私と赤ちゃん
作れっ
いいいい～っ!!
気持ち良すぎて
わかんないっ
ヴァレリー様っ
射精そうです
またさっきの出るっ


射精るっ!!
ピク♡
ゾク
ゾク
びゅるるる


んふ♡
まだまだ
できそうね？
じゃあ次は
デルがジロジロ
見てた
おっぱいで♡
おっぱ…
え…!!
ち○ち○を
おっぱいで
揉むの
パイズリって
いうのよ
ムギュ
ムチ
ムギュ
ムチ
嬉しいねぇ？
むぎゅ
おっぱい
柔らか…
ギュ
あぁ～…！
あったかい…
ムチ
ムチッ


デルのち○ぽ
おっぱいでも
全部食べちゃおう～っと♡
ショタち○ぽ
私のおっぱいだと
全部埋まっちゃうねぇ♡
パチュッ
パチュッ
パチュッ
あぁ～っ♡
おっぱい
締め付けるのダメっ
え～？
なんでダメなの？
たぱっ♡
うあぁ～っ♡
ダメっダメっ
たぱっ♡
たぱっ♡
たぱっ♡
いっぱい
カウパー出てきた♡
ぢゅるる～…♡
んっ美味し♡
ぺちゅ
ぺちゅ
あぁっ!!
ベロやばっ!!


射精る!!
びゅるるるっ
びゅるるるっ
あ～ん♡でた♡
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ビクビク
ドロ
ドロ
ドロ
ドロ
んふーっ♡
デルのザーメンで
おっぱいどろどろ…♡
こんな量
どこに
隠してるのよ♡
たぷ
たぷ
ゴク


あっ♡あんっ♡
すごいわデル♡
優秀ち○ぽ♡
あ～♡
もうセックス
覚えたのねっ♡
ヴァレリー様の
膣内気持ちいいっ
もっと！
もっとせっくす
したいです♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
もちゅん
へコ
へコ
んあぁ～♡ まるで
覚えたての猿ねっ♡
本能だけの腰フリ♡


でもいいっ♡
金玉空になるまで
好きなだけ
貪りなさいっ♡
ぎゅっぷっ
ぎゅっぷっ
お おっぱいもっ!!
はっ♡
はっ♡
あんっ♡
パーク
ぎゅっぷっ
ぎゅっぷっ
じゅる
乳首と一緒に
ピストン良いっ♡
いっ♡
んぐっ
んぐっ♡
はっ♡
はっ♡
むにむに
ぶっ
ぶっ
ぶっ
ぶっ
あっ♡
もっと♡


んんくっっ♡♡
ゾクゾク
あっ♡ 射精てる♡
イクイクッ♡♡
ビクン
ビクン
ビック♡
へ…
プシャアアァ
んにゃあぁ…♡
母乳出たっ♡
なんでぇ…♡
ドキ
ドキ
ヒュ
びくん
びくん
ドクドク
ぷるるん♡


おっ♡おっ♡
デルち〇ぽ
また固くなった♡
母乳絞るの
やめなさいっ♡
乳首イクッ♡
おぉ♡
おぉ♡
1pチュ
1pチュッ
1pチュッ
1pチュッ
1pチュッ
プシッ♡
プシャ♡
ヴァレリー様
好きっ♡ 好きっ♡
また射精る♡
私も好きっ♡
デル♡射精して♡
ビュッ
ビュッ


ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
はーっ♡
はーっ♡
はーっ♡
はーっ♡


なで
なで
ニコッ
ガッ
パキン
はい
ヴァレリー様



ヴァレリー物語(2)～初恋の味はショタの味～／おわり

ヴァレリー物語(2)～初恋の味はショタの味～

著者　かゆみ止め
発行 プレステージ出版　◎COMICS

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。